



清里まちづくり No.9 2008年12月

企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

<http://www.citymaebashi.gunma.jp/> まちづくり・市民参加

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」 「ふれあい・いきいきサロン」

前橋市社会福祉協議会
地域福祉課長 小林英俊

清里地区は、平成十八年度に「地域づくり推進事業」の指定を受け、その活動の柱に福祉部会を設置し、住民参加の福祉のまちづくりに取り組んでいただいておりますことに、感謝申し上げます。

地域に住む人たちの出会いの場、交流の場、仲間づくりの場として、高齢者や子育て中の親を対象とした「ふれあい・いきいきサロン」(以下「サロン」)活動が盛んに開催されています。サロンは住民が主役です。活動内容を決めるのも楽しむのも自分たちです。既に清里地区でも青梨子町、上青梨子町、青梨子町前原で高齢者を対象としたサロンが開設され、清里公民館では、乳幼児と保護者を対象としたサロンが開設されています。

ここでは、「ふれあい・いきいきサロン」について紹介させていただきます。

活動のきっかけはいろいろ

活動に取り組むにはきっかけが必要です。「知人の△△さんに誘われた」といったちょっとした動機でも結構ですし、「近所に気になる一人暮らしの高齢者がいる」「子育て中のお母さんの手助けをしたい」「民生委員として地域で何か活



話らいにも思わず笑顔が浮かびます

動がしたい」といった思いから自発的に取り組むことも大歓迎です。

サロンは、住民が主役となって気軽に取り組めることがセールスポイントの活動です。近所同士で「みんなが集まって楽しもうよ」ということで十分なのです。そのときに、孤立しがちだったり、悩みを抱えているような気にかかる人

たちにも声をかけ、参加してもらって、お互いに知り合っていくなかで、地域の生活がより豊かになれることが目標です。

地域を知ることの大切さ

無理せず目の届く範囲で、周りを見回してみよう。あるいは「三人寄れば文殊の知恵」で、知り合いが集まるだけで地域の状況が見えてくることもあります。地域の課題が見えて



みんなで一緒に楽しく歌いましょう

くると、活動をはじめると、活動をはじめる大切なきっかけとなります。特に、現代社会は人と人との絆が薄れ、社会から孤立した状態から多くの深刻な問題が生じています。身近な近所付き合いを深め

るサロン活動は、そうした問題解決にも非常に効果的だと考えられます。

また、見えてきた状況から、求められている、あるいは自分が取り組んでみたいサロンの姿も見えてくると思います。高齢者や障害者、子育て中の親子といった対象別のサロンもあれば、誰でも一緒に楽しみましょうというサロンもありますし、活動メニュー盛りだくさんのサロンから、お茶飲み話で一日が終わるサロンもあります。

自分の思いを大切にしつつ、まずは取り組んでみることをおすすめします。



子どもたちの元気な声が聞こえます

サロン活動の現状と今後の方向性

サロン設置数は、右肩上がりに増加しており、前橋市内では平成二十年十月現在で百二十箇所です。参加のしやすい、まとまりの良い自治会単位で設置され、自治会の事業として取り組んでいただいています。サロン活動の今後の方向性として、大きく二点が想定されます。

一つは、サロン本来の目的である住民相互の交流を深め、地域の結びつきを強めていくという点です。求められている人と人との結びつきを、身近な地域社会で削り出していく活動がサロンであり、健康を維持し他者とつながって、その人らしい毎日の生活を支える活動が展開されることが求められています。

二つ目は、サロンが拠点となって、住民主体の地域福祉活動を展開していく仕組みづくりを目指すことです。出会い、気づき、学び場として地域住民が交流するサロン活動が出发点となり、地域の支え合い、助け合いの仕組みに繋げていく

ことが期待されています。前橋市社会福祉協議会では、安易な住民任せということではなく、職員がサロンに参加をさせていただき、担い手と参加者のニーズに対応していきます。更には、専門職と連携して、サロン活動を支援していく体制づくりをすすめていきたいと考えています。

**地域での取り組み
清里公民館で
子育てサロン開催**

子育てサロンは、毎月第二、第四水曜日午前十時三十分から正午まで、清里公民館・ホールで開催しています。



子育てに役立つ情報交換も活発に

**地域での取り組み
青梨子町前原
ふれあいいきいきサロン**

毎回たくさんの子どもと親が自由に遊んだり、意見交換したりと交流の場にもなっています。

十月より新しいおもちゃも入りました。

入所、入園前の子どもを育てているお母さん方、一度見学においてになりました。

子育てサロンのこれからの予定は次のとおりです。

十二月十日、一月十四日、一月二十一日、二月二十五日、三月十一日、二十五日
(主任児童委員 木暮佳代子)

平成十四年八月初開催以来、連続七十六回を数え、会員数三十名。民生児童委員主催で後援として自治会、保健推進員の協力のもと、高齢者及び一人暮らしの方で七十歳から九十歳程度の方々が構成され、毎月第一月曜日の午前十時から午後二時まで、毎回二十三名位の参加があります。

転倒防止体操から始まり、ボランティアの方が読

み聞かせ、群馬の民話、出前サックス演奏等を取り入れ、遊びとしては、風船玉入れ、輪投げ、クイズなど楽しみながら、昼食を食べる時はおしゃべりに花を咲かせながら過ごしていただき、午後は童謡や懐メロを全員で大きな声で歌い楽しんでいます。

なお、十一月は元警察官の大和英雄氏による振り込み詐欺防止のお話しと落語でした。

平均寿命が大幅に伸びた



ボランティアの読み聞かせを楽しむ

平均寿命が大幅に伸びた

**地域での取り組み
青梨子町
八十路(やそじ)会**

青梨子町八十路会は、毎月第四水曜日午前十時三十分から午後一時まで、懐メロやのびのび体操をして、身も心もほぐれ、お茶を飲みながら、楽しいひとときを過ごしています。町納涼祭と地区文化祭には、湯浅さんの指導でフォークダンス「あこがれのハワイ航路」を発表できました。また「町だより」の高齢者特集にも会員十三名全員に文集を書いていただき、載ることができました。皆さん、お元気で考え方が前向きで教えられることばかりです。
(民生児童委員 内山秀子)

転倒防止体操から始まり、ボランティアの方が読



日頃の練習成果をいかに発揮